

Press Release

2022年10月25日

報道関係者各位

株式会社建設技術研究所
関東バス株式会社
東日本電信電話株式会社東京事業部

杉並区荻窪地域でグリーンスローモビリティ・MaaSの実証実験を実施します！ ～誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けて～

株式会社建設技術研究所（本社：東京都中央区、代表取締役社長：中村哲己）、関東バス株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長：阿部末広）、東日本電信電話株式会社 東京事業部（所在地：東京都港区、執行役員 東京事業部長：熊谷敏昌）は、2022年11月3日（木・祝）～11月13日（日）までの間に、杉並区荻窪地域（荻窪駅南側エリア）において、グリーンスローモビリティの実証運行を実施します。また、スマートフォンアプリを活用したMaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）の実証実験を実施します。

I. 背景と目的

杉並区は、今後の高齢化の進展等を見据え、誰もが気軽に快適に移動できる地域社会の実現に向けた取り組みを進めています。また、杉並区は現在策定作業を進めている地域公共交通計画の中で、MaaS^{*1}等新モビリティサービスの導入を検討しており、昨年度は、区立（仮称）荻外荘公園の周辺でグリーンスローモビリティ^{*2}と次世代型電動いすの試乗会が実施されました。今年度は、グリーンスローモビリティの実装に向けた実証運行が実施されます。

この度、3社が連携して、グリーンスローモビリティやMaaSの実証運行や企画立案、準備を行うとともに、モビリティサービスの社会的受容性や事業性等の調査・検証などを行います（表1）。

II. グリーンスローモビリティの実証概要

1. 運行期間 : 2022年11月3日（木曜日・祝日）～11月13日（日曜日）
2. 運行エリア : 杉並区荻窪駅南側エリア
3. 運行時間 : 毎日9時40分～11時40分 / 13時40分～15時40分
※上記は、停留所①荻窪駅西口における
発車時刻で、30分に1本運行します。
4. 運行車両 : グリーンスローモビリティ
(ヤマハ発動機 : AR-07) (図1)



図1 グリーンスローモビリティ
(ヤマハ発動機:AR-07)

5. 運行ルート／停留所： 図2のとおり



図2 運行ルート／停留所

6. 利用方法

- ・ 予約不要、来た方から順に各停留所で乗車可
- ・ 運賃は無料
- ・ 乗車定員は5名
- ・ 連続乗車は1周まで、荻窪駅西口で降車にご協力ください。
- ・ 雨天時は雨よけカバーが下りるため、扉がなくても雨に濡れずに乗車ができます。

Ⅲ. MaaS (モビリティ・アズ・ア・サービス) の実証概要

1. 実証期間 : 2022年11月3日(木曜日・祝日)～11月13日(日曜日)
2. 実証エリア : 杉並区荻窪駅南側エリア
3. サービス内容: スマートフォンアプリ「ココシル」を利用し、荻窪めぐりを楽しむ企画として、モビリティ運行状況把握やデジタルスタンプラリー等のMaaSの取組みを実施します(図3:取組み①～③)。アプリは、右の2次元コード(QRコード)よりダウンロードができます。



図3 MaaSの取組み概要

IV. 実証運行の実施体制および役割分担

表1 実施体制および役割分担

実施体制	役割
杉並区	・ 事業主体
株式会社建設技術研究所	・ グリーンスローモビリティやM a a Sの実証運行の全体管理 および企画立案、準備・運営、運行管理 ・ 各モビリティサービスの社会的受容性や事業性等の調査・検証
関東バス株式会社	・ グリーンスローモビリティの運行、車両管理
東日本電信電話株式会社	・ M a a S実証用プラットフォームの提供

V. その他

- ・ 実証運行の詳細については、杉並区ホームページおよび広報チラシをご確認ください。
(<https://www.city.suginami.tokyo.jp/news/r0410/1077235.html>)
- ・ 実証運行は、天候及び新型コロナウイルス感染症拡大により、中止や内容が変更になる可能性があります。
あらかじめご承知ください。
- ・ マスク着用、コロナ対策等へのご協力をお願いします。

※1：M a a Sとは

Mobility as a Service の略。ICT の活用によるマイカー以外の移動をスムーズにつなぐ新たな「移動」の概念又はさまざまな移動サービスを1つに統合させた新たなモビリティサービスです。

※2：グリーンスローモビリティとは

グリーンスローモビリティ（略称：グリスロ）とは、時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した移動サービスで、その車両も含めた総称です。グリスロは環境に優しい移動サービスとして全国各地で活用され、そのゆっくりと開放的な特性から乗客同士のコミュニケーションを生む効果も期待されています。

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社建設技術研究所 広報室：倉田（くらた）
TEL：03-3668-0868（直通） koho@ctie.co.jp
〒103-8430 東京都中央区日本橋浜町 3-21-1 日本橋浜町 F タワー

関東バス株式会社 経営管理室：久永（ひさなが）・大田（おおた）
TEL：03-3371-7111（代表） katsuaki-ohta@kanto-bus.co.jp
〒164-0003 東京都中野区東中野 5-23-14

東日本電信電話株式会社
お客さまからのお問い合わせ 東京事業部東京北支店 TEL：0800-8005312（代表）
報道機関からのお問い合わせ 東京事業部広報担当 TEL：03-3434-1133（代表）
kouhou-tokyo-ml@east.ntt.co.jp